

第4次久山町総合計画案案に対するパブリックコメント（意見募集）結果報告

- 実施期間 令和3年12月20日～令和4年1月10日
- 意見募集方法
 - 久山町公式ホームページ
 - 久山町役場、ヘルスC&Cセンター、レスポアール久山への設置（閲覧）
- 意見提出件数 8名（意見件数：18件）
- コメントの内容と回答

この度は、貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。
 いただいたご意見に対する回答を久山町総合計画審議会にて審議いたしましたので掲載させていただきます。

NO	ページ	項目	コメントの内容（原文）	回答	
基本構想	1	12	3つの健康づくりについて	<p>「国土」「社会」「人間」の3つの健康づくりとあるが、この中の「国土」という言葉は、久山町のことを論ずる上では馴染まないと思う。 「郷土」等に変更した方が受け入れやすいと思う。</p>	<p>「郷土」とは、自分の生まれ育った土地や自分が育った環境を意味しており、主に文化的な面を含めた広義の土地を表す意味合いが強くなっています。 本町の理念にある「国土」「社会」「人間」は健康の町の実現に必要な要素であり、ここでの「国土」は「土地」という捉え方になります。「郷土」は、この「国土」「社会」「人間」の3つの健康への取り組みによって培われていくものであると考えています。 SDGs（持続可能な開発目標）やESG（環境・社会・ガバナンス）などを意識した取り組みが求められる時代において、今後は、半世紀にわたり継承してきた本町のまちづくりの理念を町のブランド力につなげていくことが大切であると認識しています。</p>
基本構想	2	13	土地利用方針について	<p>土地利用方針に「市街化調整区域における利便性の高い暮らしを確保するため」とありますが、構想図として変更ない場合でも図示しないと町民にはわからないのでは。 また、原工業団地から高橋の方向について、田園保全活用ゾーンとなっているが工業流通ゾーンとすべきでは、草場右側は住環境開発ゾーンで良いのか。下山田から長谷橋周辺は流通開発ゾーンとすべきでは。</p>	<p>第4次久山町総合計画は町の最上位計画であり、町の現状や社会動向を踏まえ、今後10年間のまちづくりの方針を記載させていただいています。具体的な土地利用の方針につきましては、「久山町都市計画マスタープラン」において策定・公表しています。ご意見につきましては、今後の「久山町都市計画マスタープラン」を検討していく上で参考にさせていただきます。</p>
基本構想	3	13	将来人口フレームについて	<p>将来的には出生率の向上で人口フレームを達成することだと思いが、町の良さを広めるために一時的に生活を体験していただくの必要。 分譲マンションが建設出来る条件の見直し、賃貸物件の拡大も必要である。</p>	<p>全国的に人口減少が続く中、本町の人口は増加傾向にあり、将来人口推計においても微増する見込みとなっております。 久山町は半世紀にわたり、マンションの建築などによる急激な人口増加を抑制するために都市計画の中で開発を抑制してきました。 今後も、急激な人口増加を抑制していく方針であり、これまでの「健康の町」づくりを堅持しながら久山町独自の住みよさを生かした移住定住を促進していきたいと考えており、町の良さを知っていただくためのお試し移住などの環境整備につきましては、前期基本計画（P.25「地域経営」）の「政策1：人と人がつながり、町の可能性を広げる」の「施策⑤：共生人口の創出」に基づく具体的な取り組みの中で参考とさせていただきます。</p>
基本構想	4	14～19	重点プロジェクト 分業別基本方針について	<p>重点プロジェクト、分業別基本方針については抽象的すぎないか。 もう少し具体的な表現が欲しいと思います。</p>	<p>基本構想における重点プロジェクトや分業別基本方針につきましては、社会潮流や政策動向などを踏まえ、今後10年間のまちづくりの基本的な方針を示しており、基本計画の中で重点プロジェクトの成果指標と施策方針を記載しています。 具体的な事業内容につきましては、第4次久山町総合計画に基づき、別で作成する実施計画の中で明らかにしていきます。実施計画の公表時期は令和4年4月を予定しています。</p>
基本構想	5	16	分業別基本方針 教育分野について	<p>子供の成長（発達）段階に応じた見守れる教育の実現について、C&Cの活用。 どんなに良いことでも知られていないと意味がない。</p>	<p>久山町ヘルスC&Cセンターにつきましては、現在、施設の2階に「ひきやま健康ライブラリー」を設置し、60年にわたる町の健診事業の取り組みに関する展示を常設し、健康セミナーや幅広い世代で楽しめる食のワークショップなどを展開しています。 ご意見いただきましたように、今後は教育分野における本施設の活用についても検討していきます。 情報発信につきましては、基本構想に掲げております将来像の達成に向けて、記載している各分野の政策と施策を推進することももちろん、町のブランド形成に寄与する情報発信にも努める方針で、現在、情報戦略を策定しているところです。</p>
前期基本計画	6	2	健康について	<p>41歳以上の受診の中で働き世代は職場での健診が主となるが、町の健康増進のために健診結果の提出等があると、今まで以上に健康の町としての役割が果たせる。</p>	<p>労働安全衛生法第66条第1項により、労働者は事業者が行う健康診断を受けなければならないと規定されていますが、同条第5項により、労働者は事業者の指定した医師または歯科医師が行う健康診断を希望しない場合において、他の医師または歯科医師の行う健康診断に相当する健康診断を受け、その結果を証明する書面を事業者に提出することも認められています。本町の健診では、視力・聴力検査も追加して行うことができ、事業者が行う健康診断の項目を十分に満たしてはいますが、事前にお勧め先へのご確認をお願いいたします。</p>
前期基本計画	7	3	子育て支援について	<p>包括的な子育ての情報の周知方法の工夫、LINEの案内が不十分。 組合長会議や各地区の会議等で友達申請を促す。</p>	<p>子育てに関する情報だけでなく、町の全ての情報について、必要な方に迅速にお届けすることが重要であると認識しています。 LINE公式アカウントにつきましては、前期基本計画（P.3「健康福祉」）の「政策2：安心な子育て環境をつくる」の「施策①：包括的な子育て支援体制の継続と効果的な子育て情報や相談窓口の周知」に基づき、周知の強化と徹底を図ります。</p>
前期基本計画	8	4	公園づくりについて	<p>遊具の充実が必須。 歩道でのスケボーは危険なので舗装された公園があれば改善。</p>	<p>安心して遊べる公園づくりにおいて、対象年齢の設定も重要だと考えています。 現在、幼少期の子育て世代が多くなっており、地域内の身近な公園に新たな遊具の設置などを検討しているところですが、スケートボードができるスペースについては、前期基本計画（P.4「健康福祉」）の「政策2：安心な子育て環境をつくる」の「施策⑥：安心して遊べる公園づくり」に基づき実施する事業の中で参考とさせていただきます。</p>
前期基本計画	9	5	高齢者福祉について	<p>高齢者の健康や孤独を減らすために、やはりSNSの周知や使い方は必須。 孤独を防ぐために朝起きたら起床確認くらいあっても良い（企業でいう出勤確認のような）。</p>	<p>高齢者に向けた情報提供を充実するうえでSNSの活用も重要であるとと考えています。 前期基本計画（P.5「健康福祉の政策3：高齢者・障がい者（児）の暮らしを支える」）の「施策①：保健・福祉に関する情報提供の充実」に基づき、スマートフォンの活用講座など、高齢者を支援する事業を実施するとともに、一人暮らしの高齢者の方などの見守りについては、現在も地域や民生委員、社会福祉協議会が連携して取り組んでいますが、いただいたご意見も参考とさせていただきますながら、高齢者の健康増進や生きがいづくりを推進していきます。</p>

前期基本計画	10	8	教育について	<p>学校外でも町内に学習塾は欲しい。 親が送り迎えや子供の移動時間等を考えたら身近にあれば便利。 わざわざ他の町に費用を落とさなくても良い。</p>	<p>現在、地元企業と連携して久山中学校にて英語塾を実施しています。 さらに今後は、前期基本計画（P.10「教育」の「政策2：学び合いやスポーツの機会を広げる」の「施策①：学びの機会の充実」）に基づき、学校教育では得られない学びの機会として、大学や専門学校、企業などと連携した生きる力を育む独自のプログラムを提供する取り組みを進める方針です。 なお、民間の学習塾の町内への新設につきましては、事業者の経営判断に拠るところとなります。</p>
前期基本計画	11	24	地域経営について	<p>町政に関心を持ってもらうよう、特に、若者・女性に参加し、町の将来を論じる場所の提供。 町がやっている職務内容を知ってもらうため、小学校高学年、中学校にPTAを含めて出前授業をやってはどうか。</p>	<p>第4次久山町総合計画においては、町民や行政、民間などの多様な人々の交流の機会や場を創出することで「つながり」を深めることを重点的な考え方として、各種事業を推進していきます。 ご意見にあります出前授業についても、学校や各種団体に働きかけるとともにご要望に合わせて随時対応させていただきます。</p>
前期基本計画	12	-	駅や町の魅力づくりについて	<p>トリアスに新幹線の駅を作る。 すぐ出さとは思いませんが駅は久山町で造っていいのでは。 それぐらい投資しても、将来の事考えると久山はベッドタウンとなる。 自然と調和した久山町には色んな面で利益が出て来ますね。</p>	<p>駅の建設には膨大な費用がかかりますので、久山町の財政規模ではとても負担できる額ではないことをご了承ください。 また、博多駅を出発した新幹線は久山付近で加速を始めるために、駅を設置するのは物理的に難しい状況です。</p>
前期基本計画	13	-	駅や町の魅力づくりについて	<p>猪野神社の団子が饅頭を作る。</p>	<p>いただきましたご意見のように、地域の特色を生かした商品は町の商工振興に必要な要素であると考えており、前期基本計画（P.16「産業」の「政策2：商工・観光振興による交流拡大」の「施策①：既存産業の支援」および施策④：町内における観光消費の拡大）に基づき、具体的な取り組みを商工会や町の事業者と協議しながら検討・展開していきます。</p>
前期基本計画	14	-	ゴミ袋の料金について	<p>燃えるゴミ袋の料金を値下げしてほしい。 他の町に比べて4倍高いのはいかがなものかと思います。</p>	<p>ごみ袋の価格だけを見ると周辺自治体より高くなっていますが、家庭用ごみの処理に係る一人当たりの負担経費は久山町の方が安くなっています。 さらに、久山町では、福岡市よりも1日あたり1人50gごみが少ない状況です。近年、環境保全への取り組みも重要視される中で、ごみを減量するために新宮町や古賀市ではゴミ袋の値上げに踏み切っています。 現在、久山町が町民の皆さまの税によって負担している家庭用ごみの処理などに係る経費は、年間約3,800万円です。仮に、ごみ袋代を半額にした場合、単純計算ですとさらに1,000万円を負担することになりますが、ごみが増えることも想定されるため、それ以上の負担になるとも考えられます。増額する費用を賄うためには、他の事業費を削減しなければならず、現状といたしましては、限られた予算の中で今以上にごみ処理の経費を負担していくことは難しく、環境保全の観点からも現状維持とする方針です。</p>
前期基本計画	15	-	学校給食について	<p>中学校の昼食を弁当ではなく、給食制度にしてほしい。 子育て世代には時間が足りない。 せめて、中学校まで給食にしていきたい。</p>	<p>新たに中学校専用の給食室を設けることは財政上難しく、町内の小学校2校の給食提供も兼ねた給食センターの建設を検討した上で、衛生面や一人当たりの給食費を勘案し、久山中学校では令和元年9月に選択制ランチサービスを開始いたしました。 このランチサービスは、温かいものは温かい状態で提供することができ、栄養面も考慮したメニューとなっております。料金3割を町が助成することにより1食300円で提供しています。 利用者数も増加していることから、限られた予算の中での最善の事業と判断しており、現時点では、新たな給食センターの建設予定はありません。</p>
前期基本計画	16	-	商店等の誘致について	<p>町をもっと活気づける為にも、お店を誘致してほしい。 また、スーパーの営業時間をもう少し長くしてほしい。 トリアス久山も運営継続に至ってはコストコありきになっている部分があると思います。市内や、駅ビルなどに店舗されているような有名な店を誘致してほしい。フタタグループのスーツセレクト、UNIQLO、GU、無印良品など。 町の財源的に誘致ができないのか、それとも誘致しても出店を拒まれているのかも教えてほしい。</p>	<p>企業誘致につきましては、誘致可能な土地があれば、随時各企業への働きかけは行っておりますが、最終的には企業の経営的な観点から判断するものとなります。 トリアス内の店舗につきましては、トリアスと出店する企業の経営判断に委ねられていることをご了承ください。</p>
前期基本計画	17	-	商店等の誘致について	<p>町内に地銀大手の福岡銀行さんも出来れば誘致してほしい。 若い世代が移住してきて、農協だけでは不便。 世代交代の意味も含め、西日本シティ銀行だけでなく、福岡銀行も誘致希望。</p>	<p>金融機関の新規店舗開設は、金融機関の経営判断となりますことをご了承ください。</p>
前期基本計画	18	-	農業について	<p>健康の町久山は健康は食事から、野菜嫌いの人が多いですが、久山特産品の野菜を推奨したらどうでしょう。 粕屋町はブロッコリーに力を入れてあるみたいだけど何か栄養価の高い栽培しやすい野菜なんかを推奨する。例えば、ケール、この野菜は虫が付にくく栄養価も高い等々。若者とシルバーに農業をやって貰う。町には休んでいる農地が一杯ありますね。町が農業運営をするなど、先ずは行動しないと何も生まれません、失敗しても計画練ってやったら失敗は少なくなる。 協力しますよ。</p>	<p>ご意見いただきました久山の特産となる野菜の栽培などにつきましては、前期基本計画（P.14「産業」の「政策1：農業の恵み、森林の豊かさを守る」の「施策③：特色ある農業の実現」に基づき、「健康の町」としての環境を生かした生産性と収益性の高い農産物の産地化に取り組みます。 また、農地の活用につきましては、町の田園風景の保全につながる事業に積極的に挑戦していく方針ですので、ぜひお力添えをお願いいたします。</p>